

『ロストラル』初寄港！！



▲ロストラル入港の様子



▲バスツアーを終えた乗客の皆様を歓迎



▲青森ねぶた囃子の演奏で歓迎



▲歓迎セレモニーでの記念撮影

5月19日（金）、青森港新中央埠頭にクルーズ客船「ロストラル」が初寄港しました。

「ロストラル」はフランスのポナン社が所有している高級小型ラグジュアリー船で、フランス料理のフルコースが自慢の「美食の船」としても知られており、乗客の多くがフランス人です。青森港へは「春の日本発着クルーズ」の寄港地として午後6時頃に入港しました。乗客の多くは、同日朝に寄港した能代港で下船し、バスツアーで白神山地や弘前城などの観光を楽しんだあと、青森港で乗船し、次の寄港地（室蘭）へ向かいました。

新中央埠頭では、青森ねぶた囃子の演奏や小野寺青森市長のあいさつ、記念品贈呈などの歓迎セレモニーを行いました。

同船は、翌20日（土）に、室蘭で次の乗客を乗せ、21日（日）に再び青森港へ入港し、今度は青森港から能代港へ向かうバスツアーで三内丸山遺跡や十和田湖などの観光を楽しみました。

『ロストラル』概要※

運航会社	ポナン（仏）
竣工	2011年
乗客定員	264名
乗組員数	140名
総トン数	10,700トン
全長	142.10m

※青森港国際化推進協議会作成資料による